様式第１号（第６条関係）

23.10.14 柴田町役場 宮城県

平成２３年１０月１４日

まちづくり意見提案書

柴田町長　殿

（提案者）　氏名　　　　　　　吉　村　章　印
住所
電話番号

次のとおり提案します。

1	提案の名称	桜まつりにおける「白石川河川敷の有効活用」
2	現状・課題	・　現在、町の花見場所は館山城址公園だけの出店であり、出店者は毎年同じである。これは一般の人が参加出来ないシステムである。 ・　白石川河川敷は公園・運動場として活用しているが、更に花見時期に一般開放してフリマーケット及び飲食店舗の出店を可能とするよ　う要望する。 ・　一般の主たる参加者は、町内会の区単位の参加の出店となる。
3	目標	①　県内外からの花見客に対して「一目千本桜東の始まり場所」として観光客に観て頂きたい。 ②　このお店参加者は各町内会がお店を出して、町内会の費用を潤す事が主目的である。 ③　他業者（町内外）の参加者は可能（提案制度の対象とならない項目に該当する者は参加出来ない。）とし、町と県内外の参加者によって新しい名物を創る。
4	意見提案の内容	①　各町内会が主たる事業主であり、競合相手でもある。 ②　各町内会が工夫を凝らし、販売品の売り上げは、その自治区の収入として町内会の運営資金に充てることは可能 ③　町内以外の参加者からの出店料は、桜まつり実行委員会の運営資金に充てる。。 ④　場所は、船岡駅から土手内区域間の白石川河川敷公園を主たる場所とする。 ⑤　開始時期は、平成２４年度の桜まつりから行い、出店募集は１月初旬から始める。 ⑥　この事業は、「町内会の纏まり」、「町民あげての桜まつり参加意識の向上」、県内外者との交流を通じて「町民としての誇り」を持つ事の大切さを町民みんなで考える。 ⑦　将来は、桜ライトアップをして「夜の千本桜」楽しんで貰う。